

## 「河川砂防技術研究開発」(平成25年度採択)

### 事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
電気探査および統合型貫入試験による堤防断面土質モデルの構築に関する技術開発 (研究期間：H25年～H27年)	京都大学 三村 衛	A
<b>&lt;研究概要&gt;</b>  線状構造物である河川堤防に対し、堤防縦断方向の複数測線に沿った牽引式電気探査によって求めるパネル状の電気比抵抗分布を線形補間することによって三次元電気比抵抗モデルを作成する。同時に、電気比抵抗構造から決定される適切な堤防横断面で、統合型貫入試験を実施することによって電気比抵抗～土質区分関係を求める。三次元電気比抵抗モデルに電気比抵抗～土質区分関係を適用することにより、堤防の三次元土質断面モデルを構築する手法を開発、提案した。		
<b>&lt;事後評価コメント&gt;</b>  電気探査と統合型貫入試験の結果を組み合わせ、線形補間することによって三次元土質モデルを構築する手法が開発された。また、開発した手法による土質モデルを後からボーリング調査結果と比較することによって検証し、手法の実用可能性が提示された。研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。 今後、開発した手法によって得られる土質モデルを河川堤防の安全度評価や弱点箇所への把握に適用するにあたって、手法の適用条件やその限界を明示するとともに、現地での調査方法と調査データの解析方法をまとめるなど、引き続き、他の研究者や国土交通省とも連携・協力するなどして検討を進め、実務への適用の観点で進展することを期待する。		

#### ※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い